



『“かもしれない”を大切に…』

初めまして！諸口教室で4月からバスケキッズ、7月から小学生の集団授業も担当させていただきます！という須田千秋です。

実は私の母は、15年以上、開智総合学院諸口教室のそろばん講師としてお世話になっており、そのご縁でバスケキッズを知りました。「ぜひ自分も学び、関わりたい」と思ったことが入社のきっかけです。

開智総合学院に入社する前は、幼稚園・保育園で合わせて14年間勤務し、0歳から5歳児の子もたちと関わってきました。大学では、積み木遊びをテーマに、遊びの中でどのように「考える力」や「感じる力」が育っていくのかを学びました。

私の好きな絵本に『りんごかもしれない』という作品があります。目の前のりんごを見て、「本当にりんごなのかな？」「もしかしたら、中身や裏側は違うものかもしれない」と想像を広げていくお話です。

「～かもしれない」と考えることで、一つの見方にとらわれず、さまざまな可能性に目を向けることができます。この考え方は、学習の場面だけでなく、人との関わりにおいても大切なことだと思っています。

「この人はこういう人だ」と決めつけるのではなく、「もしかしたら、こういう理由があるのかもしれない」「こう考えているのかもしれない」と相手の立場や思いを想像することが、相手を理解することにつながるのではないかと感じています。

これまで子どもたちと関わる中で、子どもは遊びや対話、さまざまな経験を通して「どうしてだろう？」「こうかもしれない」と自分なりに考え、試行錯誤しながら成長していく力を持っていることを実感して

きました。

私が大切にしたいのは、「自分で考える力」です。ただ答えを覚えるのではなく、「なぜそうなるのか」「他の考え方はないか」と考える過程が、理解を深め、変化の激しい社会の中で自分で学び考え、他者と協力して課題を解決していく“生きる力”につながると考えています。

私自身も学び続けながら、教室に関わる皆さん一人ひとりが持っている考える力や可能性を大切にし、「わかった！」「できた！」という喜びを感じられるような関わりを心がけていきます。

これからどうぞ、よろしくお願いいたします。



science experiments. They will create an Emotion Craft, challenge themselves in a fun Spy Game, and discover fascinating scientific reactions through experiments using baking soda, vinegar, and lemon extract. These activities are designed to spark curiosity while

reinforcing English communication skills in an enjoyable environment. The Summer Lesson Program has been progressing successfully since its opening week. Current Talking Kids students have strengthened their knowledge by reviewing previous lessons, while new students have shown great enthusiasm for learning English. Despite the intense summer heat, students continue to attend classes with energy and excitement.

It is often said that the best time to learn a language is during childhood. Young learners naturally adapt to new languages and develop strong communication skills through consistent practice and positive encouragement. Although the students come from different schools and backgrounds, they have gradually overcome their shyness and built confidence in speaking English. The lessons have been carefully designed to match each student's level, allowing newcomers to participate comfortably while challenging existing students to continue improving.

Through meaningful lessons and enjoyable English games, students have remained actively engaged throughout the Summer Lesson Program, making this summer both educational and unforgettable.



ケーション能力を向上させることにつながります。

サマーレッスンプログラムは開始初週から順調に進められています。トーキングキッズ生たちは、これまでの授業内容を復習することで知識をさらに深め、新しい生徒たちも熱心に英語の勉強をしています。厳しい夏の暑さにもかかわらず、生徒たちは元気いっぱい楽しながら授業を受けています。

言語を学ぶのに最適な時期は、幼少期だと言われることが多いです。幼い子は新しい言語に自然と適応し、継続的な練習と周りからの積極的な働きかけで確かなコミュニケーション能力を身につけていくからです。生徒たちはそれぞれ違った学校に通っているにもかかわらず、徐々に恥ずかしさを克服し、英語で話す自信をつけてきました。各レッスンは生徒一人一人のレベルに合わせて丁寧に組まれており、初心者でも気兼ねなく参加いただけます。そして経験者にはさらなる上達を目指すような挑戦を促しています。生徒たちはサマーレッスンの期間中、有意義な授業や楽しい英語ゲームを通じて、終始積極的に参加し続け、この夏を学びの多い忘れられないものにしてくれたことでしょ。



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563
【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章（塾長）

中3の夏は一度きり。
みんな最後までやり抜こう！

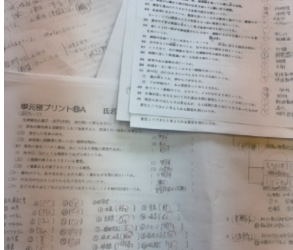
今年の夏も本当に毎日、暑さが続いています。外に出るだけで体力を奪われるような気候ですが、カイチでは空気が一段と熱く、活気に満ちています。先生たちは朝の小学部から始まり、昼は中学3年生、夕方はバスケやトーキングキッズ、そろばん教室、そして夜は中学1・2年生と、まさに一日フルコースの指導を全力でやり切っています。

私自身も今年、久しぶりに夏期講習に参加し、生徒たちと一緒に勉強しています。体力が持つか心配していましたが、やはり子どもたちを教えていると、逆にこちらが元気をもらえるというか、「ああ、やっぱりこの仕事はいいな」と感じます。

現場に戻って改めて強く感じるのは、先生の声かけの力です。カイチの生徒たちは本当に素直で、きちんと話をすれば必ず響きます。こちらが前向きな言葉をかければ、子どもたちはその言葉を受け取って変わっていく。今どきの若者は、なんて言われますが、やはり今も昔も生徒は同じです。だからこそ、私たち、指導する人間が元気に前向きな声をかけられるかが、指導の大きなポイントだと日々感じています。

中学3年生の授業にも入っていますが、彼らの姿勢には本当に感心します。授業は12時5分から70分×3本で、終わるのは3時半。しかしほとんどの生徒がそのまま残って勉強を続けます。1時間残る子、2時間残る子、最終は6時半に一度帰しますが、夕食を塾で食べて夜も残る子もいます。夜は10時半頃まで自習が続き、先生たちの手が空くの待って質問や補習を依頼してきます。

夏期講習は「講習を受けるだけ」ではありません。各教科に「やり切り課題」があり、毎日小テストがあります。私が担当する理科のやり切りプリントはB4裏表×8枚の単元別プリント。これをやり切れば中1・中2の内容はほぼ完璧になるように作っています。毎年これをやると、クラスの平均偏差値は60を超えてきます。他の教科も同じように、例えば英語は単語1000個(単語テスト10枚)、社会は必勝プリントなど、個性的で強力なやり切り課題が揃っています。



▲理科の単元別プリント 問題がビッシリ

もちろん日々の講習でも宿題は出るし、学校の宿題もあります。学校の宿題を質問されることも多いですが、本当に良い内容です。学校の先生方がしっかり考えて出してくださっているの、学校の宿題をきちんとやるだけでも十分実力がつきます。

今週末で夏期講習は早くも半分が終了です。8月1日(土)にはプレ模試がありました。これは夏期講習明けに受ける「第3回進研模試」の過去問を使い、偏差値を出して現時点の仕上がりを確認するものです。生徒のみんながチェックされるだけではなく、先生たちも自分の指導をこのテストで確認し後半の指導に活かします。ここで伸びていなければ、後半2週間でボルテージをさらに上げて巻き返さなければいけません。それほど重要なテストです。



▲プレ模試のお昼ご飯のコマ。やっぱり食べる時が一番いい顔しています。

夏も折り返し地点に来て、みんなに意識してほしいのは、夏の課題を「こなすこと」が目的になっていないかということです。夏期講習の目的は8月末の進研模試で自己ベストを叩き出すこと。やり切りの一枚一枚が、学校の夏休みの課題の1つ1つが、確実に学力につながるやり方で進められているかを常に意識してほしい。

私ができる限り、講習後の中3の自習室に混じって生徒たちと共に夏期講習の予習をすることになっています。やはり、生徒たちが集中している空間と一緒に勉強すると、こちらも集中できてはかどるし、一緒に頑張ってる気がして嬉しくなるからです。自習中、質問に来る生徒もたくさんいますが、質問も「ここを聞くべき」というポイントをしっかり押さえていて、生徒たちの成長を感じます。ただ、まだ質問に来ていない子もいるはず。後半戦はぜひ積極的に動いてください。

7月末の学力診断も実は第3回進研模試を利用して実施されましたが、偏差値70が14人も出ています。トップは76。すさまじい力です。今年はトップ10校に過去最高の50人以上は合格させたいと思っています。ただし、トップ校合格だけが大事なのではありません。それぞれが自分の限界を突破することが大事です。

中3の夏は一生に一度。もう二度と戻ってきません。残り2週間、全力で駆け抜けてください。最後まで走り切った生徒は、秋から成績が一気に伸びます。先生もみんなから元気をもらいながら、「やっぱりこの仕事は素敵だな」と感じています。中3のこの夏は人生で1度だけ。みんなで最後までやり抜こう。

シルバの
ちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Silvestre Medelin (Talking Kids)

A Summer of Learning and Fun「学びと楽しさに満ちた夏」



Summer is a wonderful time to explore new ideas, build confidence, and enjoy learning. Our Summer Lesson Program gives students the opportunity to improve their English through fun, engaging, and meaningful activities. Whether reviewing familiar topics or learning something new, every lesson is a step toward greater confidence and success. At Talking Kids, our primary goal is to make learning both enjoyable and meaningful. We understand that many children are hesitant to participate in activities that feel stressful or intimidating. That is why we strive to create a balanced learning environment by combining clear grammar instruction from our Japanese English teachers with speaking practice led by our foreign English teachers. As philosopher John Locke proposed in his theory of learning, children begin as a “blank slate,” making meaningful learning experiences essential to their intellectual and emotional development. Months before the Summer Lesson began, the Talking Kids team carefully planned every detail to provide participants with a



memorable learning experience. We wanted both new and current students to gain knowledge and skills they could confidently share with their family and friends. Our preparation included designing age-appropriate lessons, interactive games, creative crafts, and exciting science activities. Each lesson was carefully matched to the students' prior knowledge to ensure that everyone could learn comfortably while staying motivated. Since learning English can be challenging, we integrated games into every lesson to transform nervousness into confidence, excitement, and active participation.

The Summer Lesson Program began with three weeks of free lessons, giving new students the opportunity to experience the classes before deciding whether to continue. After the free lesson period, students who wish to continue may officially enroll in Talking Kids. To conclude the program, we will celebrate Science Week from August 17 to August 21. Students will enjoy creative crafts, exciting English games, and hands-on

グキッズ生にも、初めての方にも、家族や友達に自信を持って伝えられるような知識やスキルを身につけてほしいと考えました。準備の一環として、年齢に応じた授業や参加型のゲーム、創造性を育む工作、そしてワクワクする科学実験などを企画しました。各レッスンは、生徒たちのレベルに合わせて丁寧に構成されており、全員がモチベーションを維持しながら、無理なく学習できるよう配慮されています。英語学習は難しいこともあるため、すべてのレッスンにゲームを取り入れ、緊張感を自信やワクワク感に変え、みんなが積極的にレッスンに参加できるようにしました。

サマーレッスンプログラムは3週間の無料レッスンから始まり、新入生が継続するかどうかを決める前に授業体験の機会を設けました。無料体験レッスンの期間終了後、引き続き受講を希望される方はそのままトーキングキッズにご入会いただけます。このプログラムの締めくくりとして、8月17日から21日までサイエンスウィークを開催します。生徒のみなさんには、創造性あふれる工作や、ワクワクする英語のゲーム、そして体験型の科学実験を楽しんでいただきます。エモーションクラフトを作ったり、楽しいスパイゲームに挑戦したり、重曹・酢・レモンエキスをを使った実験では、興味深い化学反応の発見をしていただきます。これらの活動は、楽しい環境の中で、子どもたちの好奇心を刺激しつつ、英語でのコミュニ

■夏期講習期間について
8月25日(火)までが夏期講習期間です。通常授業とは曜日・時間が異なりますので、詳細は「夏期講習のお知らせ」をご確認ください。

■休講日のお知らせ／以下の期間は、全コース休講となります。

・8月10日(月)～8月15日(土)

・9月4日(金)・5日(土)

■キッズクラス・ビンゴ大会開催

8月22日(土)には、各教室でキッズクラスの「夏のビンゴ大会」を開催します。楽しいひとときと素敵な賞品をご用意しておりますので、是非ご参加ください。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

カイチ予備校蒲生校・グルメレポート

対島 広史 (カイチ予備校)

城東商店街の中にあるカイチ予備校蒲生校は、開校9年目に入りました。100人以上の高校生が通っている教室です。いわゆる予備校としては小規模なのですが、多い年には国公立大学に2ケタの方が進学したり、私立大も関関同立など難関大合格者を多数輩出する教室になりました。



教室のある蒲生四丁目近辺はラーメン激戦区として知られていたり、城東商店街近辺には安くておいしくて不思議な魅力をもつ食事処がたくさんあつたりします。今回は、カイチの先生方におすすめのグルメスポットを紹介いただきました。

ダイニングバーYaa (福井先生)



カイチ予備校蒲生校で数学を中心に教えておられる福井先生。福井先生のおすすめは、Yaaというお店。カイチ予備校蒲生校のある商店街の向かいの筋のお店です。

お昼は毎日、日替わりのランチをやっています。この日のメニューはチキンカツ。福井先生の好物です。



今年からカイチで英語を中心に教えておられるムン先生のおすすめは、Boulangerie IENAです。カイチ予備校蒲生校と、今福教室の真ん中あたりにある人気のパン屋さんで、土曜日は行列ができています。建物



クリームパンが有名なのですが、この日は売り切れのため、ムン先生はソーセージバトンとメロンパンの昼食でした。

蒲生中華 信 (伊藤先生)



万緑会、諸口教室などで教えておられる伊藤先生のおすすめは、蒲生中華信。商店街から小さな横道に入ったところにあり、知らない



この日は、チャーハンと鶏のから揚げ。ちょっとがっつりの昼食です。チャーハンではなく普通のご飯の場合は、おかゆに変更するこ



ともできます。伊藤先生は上本町におられる時間が長いのですが、蒲生四丁目にお気に入りのお店があるのに驚きました。

ガモウスマイル (高木塾長)



高木塾長のおすすめは、カイチ予備校の裏側にあるラーメン屋さん、ガモウスマイル。朝早くからやっているけど、午後3時には閉まってしまふ、というお店です。



塩ラーメンもおいしいのですが、この日は、まぜそば。麺もちろんなのですが、チャーシューが大変美味。まぜそばには、ご飯がついてきます。高木塾長は、月に一度はガモウスマイル。今日もスマイル。

予備校に限らず、カイチの先生方はみなさん大変忙しそうにされていて、ちゃんと昼ごはん食べているのか心配になる時があります。ただ、どの先生に聞いても「お気に入りのランチ」はあるようです。たくさん食べてエネルギーチャージをお願いします。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

偏差値70への道!!

小幡 翔太郎 (関目教室)

2026年夏、人生で経験したことがないほどの暑さの日があり、もはや33℃の日は「ちょっと涼しい」と思えるようになってきました。慣れって怖いものですね・・・。

今回は、いつもより塾での勉強や自習時間が増える夏休み・夏期講習時期に合わせて、「めっちゃ賢くなるには何をすればいいのか」をお伝えしていこうと思います。

①生活習慣に気を付ける

いきなり勉強関係ないかい!と思われるかもしれませんが、長年三者懇談に入り、多くの生徒の「生活習慣について」も聞き取り・アドバイスをってきた経験上、生活習慣と学習効率は強い相関関係にあると感じています。1つめは「**寝る時間**」。寝る時間が短い、あるいは深夜帯から昼などにずれ込んでいる人は、きちんと睡眠をとっている人に比べ、長期的な成績が伸びにくい。特に**中学生では、部活や塾でハードな人も多い**と思いますが、『**遅くとも24時までに就寝する**』ことを心掛けていただきたいと思います(これまでの経験上、遅くとも24時までに就寝している人と、そうでない人には、長期的な成績に天と地ほどの差が出ます・・・)。また、**小学生には「朝起きた時に、スッキリ起きるためには何時に寝ればいいのか」と質問し、返ってきた答えが「寝るべき時間」**です。夏休み中は生活時間帯が遅くなりがちと思いますが、今一度、就寝時間に注目していただきたい

と思います。2つめは「部屋を片付ける」です。それも、大掃除のような大掛かりな片付けではなく『1日5分(めっちゃ散らかってれば10分)、毎日実施する』ような『**片付けの習慣化**』です。学校の小テストをはじめ、定期テストや模試、入試を前にして「そういえば、あれはどこだったかな?」と調べ物をするときに、10秒で探し出せる人と、15分探しても出てこない人では、勉強の効率に大きな差が出てきます。将来の一人暮らしも見据え、自分のスペースは自分で片付ける習慣をつけていきましょう。



▲坪田先生は、健康を意識してジムに通っているとかいいたが・・・!

②普段の授業時のポイント

この後に紹介する「復習・反復」等、細かなポイ

ントも合うのですが、一番大切なことは、授業で、または演習・自習中に、「**わからない箇所は残さず質問すること**」です。当たり前やん!という話なのですが、意外と「ちょっとわからんけど、まあなんとなくこれでいいやろ」と、『**少しの不理解箇所**』を残してしまう人は結構います。また、「わからないところ5個くらいあるけど、一番難しいこの1個だけ質問しよう」と、一見ちゃんと質問しているようですが、やはり不理解箇所を残してしまう人がいます。宿題や、反復での演習をきちんとしたとしても、最初のタイミングでわかっていなければ効果は半減すると考えて下さい。大事なことは「わからないものを残したまま帰るのは気持ち悪い!」という感覚を持ち、常に解消する姿勢を持つ、という事です。**演習中に、不理解箇所を徹底的に質問しまし**



▲質問をする人は伸びる!

③ここまでの学習内容を復習する

カイチの夏期講習では、小学部はこれまでの算数の復習と、国語の読解練習、英語の通常授業の続きを実施しています。また中1・中2でも、数学・英語はここまでの復習、国語は読解演習を行っています。先ほどの②のところと同様、復習授業でも、不理解箇所を残さないように進みましょう。1度授業で習い、宿題等で反復してきたものを、長期記憶に置き換えるため、この時期の復習をきちんと行くと「**忘れにくい知識・少しの復習ですぐに思い出せる知識**」をゲットすることができます。

小5～中2までの模試では、基本的に5科の模試を受験することになるのですが、授業コマ数の都合上、理科・社会の授業はありません。**範囲表を掲載しますので、塾のテキストや学校の教科書で、該当範囲を見直しておきましょう。**

また、中3は、クラスにより多少異なりますが、基本的には「中1・中2内容を完璧に復習し、一部教科では中3内容を進む」というカリキュラムになっています。「**受験勉強進捗チェックシート**」を見つ「**特に注力して上げたい教科は何か**」「**そのために何に注力して取り組むか**」を、担当の先生と相談しながら学習を進めてください。例年、チェックシートの進捗度合いと模試偏差値はかなりリンクしています。はじめのころは果てなく感じて嫌になるかもしれませんが、**コツコツ続けるこ**

とで必ず成果が出ます。入試での得点力を鍛えるためにも、また、**人生を通して大事な「やりぬく力」を育てる**ためにも、目の前の勉強に向き合いましょう!



◀関目教室名物、廊下の自習スペース。歴代の先輩たちが、実力をつけてきた席です。

④演習で出てきた苦手をツブす

中3では、模試等の過去問を用いた演習を多く行います。演習時に大事なものは「**時間配分**」「**数学・理科等**」**途中式の書き方・余白の使い方**」「**見直しの仕方**」です。これは解いているときに注意する点です。また、解き終わった後は「**正確な丸付け**」と「**苦手の克服**」が大事です。間違えた問題1問の直しでとどまらず、「**発見した苦手単元は、テキストの該当箇所に戻り、復習する**」ようにしまし

ょう。よく三者懇談で聞かれるのが「どのくらいの回数、問題を解けば覚えますか?」という質問なのですが、私は「正直、人によって違います。」と答えます。1回見聞きすれば忘れないという人もいれば、何回も反復してようやく覚える、という人もいます。小学校・中学校の学習で大事なものは「**自分のタイプを知り、自分に合った学習法や、自分が学習する際に、どれくらいやれば身につくのかを見つ**

けること」です。今日ご紹介した勉強法や能力は、今は受験のために必要とされる力ですが、この先の人生では、バイトや部活動、サークル活動、就職活動、仕事、趣味、などなど、様々な場面で必要になってくる力です。**受験勉強を通して、ぜひ「自らを知り、対応する力を手に入れる」ということを達成してほしい**



◀珠算クラスでの一コマ。みんな夏もよく頑張っています!

▶夏期講習中の中3生。メリハリつけて頑張っています!

